

科目名称:	子どもの健康と安全	
担当者名:	奥村 澄	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>保育における保健的観点から踏まえた子どもの健康と保育環境について理解する。 また、子どもの発達や健康状態に即した適切な対応について具体的に学び、 健康及び安全で衛生的な環境や援助について理解を深める。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>1. 子どもの発育発達段階、健康状態を考えながら援助の方法を理解し行動ができる。 2. 子どもの発育発達段階、健康状態を考えながら安全に行動ができる。 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に理解し、安全に行動ができる。 4. 保育における感染症対策について具体的方法を理解し、安全かつ衛生的に行動ができる。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	○
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		40	10	50	100
幼児教育DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 看護師	《経験年数1》 5年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
発達段階、健康状態を考えながら、援助の方法を理解し行動できる。	自ら、援助の方法が説明でき、行動できる。	自ら援助の方法が説明でき、助言を受けながら行動できる。	助言を受けながら、援助の方法が説明でき、行動ができる。	指導を受けながら、援助の方法が説明でき、行動ができる。
発達段階、健康状態を考えながら、安全に行動できる。	自ら、安全に行動できる。	助言を受けながら、安全に行動できる。	指導を受けながら、安全に行動できる。	指導を受けながらも、安全に行動できない。
体調不良等に対する適切な対応について具体的に理解し、安全に行動できる。	自ら、適切な対応が具体的に説明でき、安全に行動できる。	自ら適切な対応が具体的に説明でき、助言を受けながら安全に行動できる。	助言を受けながら、適切な対応が具体的に説明でき、安全に行動できる。	指導を受けながら、適切な対応が具体的に説明でき、安全に行動できる。
感染症対策について具体的方法を理解し、安全かつ衛生的に行動ができる。	自ら、具体的方法が説明でき、安全に衛生的に行動ができる。	自ら具体的方法が説明でき、助言を受けながら安全に衛生的に行動ができる。	助言を受けながら、具体的方法が説明でき、安全に衛生的に行動ができる。	指導を受けながら、具体的方法が説明でき、安全に衛生的に行動ができる。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス 第2章 保育における健康及び安全管理 【演習】手洗い	教科書第2章p12~13手洗いの手順を把握しておく。	60分
第2回 第1章 保健的視点を踏まえた保育環境及び援助 【演習】バイタルサイン測定・身体測定	教科書第1章を参考に、体温、脈拍数、呼吸数の測定手順を把握しておく。	45分
第3回 第1章 保健的視点を踏まえた保育環境及び援助身体発育評価の実際 児童虐待	発育評価方法、児童虐待について調べておく。	45分
第4回 第2章 保育における健康及び安全管理 【演習】感染性物質の処理	教科書第2章を参考に吐物の処理方法の手順を把握しておく。	45分
第5回 第3章 子どもの体調不良等の対応 【演習】誤飲予防 薬の与え方	教科書第3章を参考に薬の投与手順を把握しておく。	45分
第6回 第3章 子どもの体調不良等の対応 【演習】心肺蘇生法 止血 包帯方	教科書第3章を参考に心肺蘇生法の手順を把握しておく。	45分
第7回 第4章 子どもがよくかかる感染症の対策 小テスト	教科書第4章を参考に感染症、予防接種、出席停止期間を事前学習しておく。	45分
第8回 第5章 保育で必要な保健的対応 【演習】睡眠習慣としつけ 寝かせ方 抱き方	教科書第5章を参考に抱き方・おんぶの手順を把握しておく。	45分
第9回 第5章 保育で必要な保健的対応 【演習】食事習慣としつけ 調乳方法 はみがき	教科書第5章を参考に人工乳の作り方、歯磨きの手順を把握しておく。	45分
第10回 第5章 保育で必要な保健的対応 【演習】更衣習慣としつけ 衣服の着脱	教科書第5章を参考に衣服の着せ方の手順を把握しておく。	45分
第11回 第5章 保育で必要な保健的対応 【演習】排泄習慣としつけ おむつ交換	教科書第5章を参考におむつのつけ方の手順を把握しておく。	45分
第12回 第5章 保育で必要な保健的対応 【演習】清潔習慣としつけ 沐浴	教科書第5章を参考に沐浴の手順を把握しておく。	45分
第13回 第5章 保育で必要な保健的対応 個別的な配慮を要する子どもへの対応【グループワーク】	教科書第5章を参考にグループワーク課題について調べておく。	45分
第14回 第5章 保育で必要な保健的対応 障害を持つ子どもへの対応【グループワーク】	教科書第5章を参考にグループワーク課題について調べておく。	45分
第15回 第6章 健康及び安全管理の実施体制 小テスト	教科書第6章を参考に地域との連携・協働を予習しておく。	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業での演習等によるパフォーマンス40%、小テスト40%、
提出課題10%、受講態度（授業への参加度、グループワークの取り組み10%）

課題に対するフィードバック

1. 授業内プリントは評価し返却する。

教科書・参考書

教科書：授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全演習ノート改訂第2版 小林美由紀著 診断と治療社（教科書は毎回の授業や事前事後学習で使用する）
参考資料：「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」（厚生労働省2019年改訂版）「保育所における感染症対策ガイドライン」（厚生労働省2018年改訂版）「教育・保健施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」（内閣府・文部科学省・厚生労働省）